



《教育目標》

みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

失敗から学ぶ

校長

連休を終え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。我慢の多い連休を過ごした方も多かったと思います。ただ、こうやって学校での教育活動ができることを素直に喜びたいと思っています。

5月の全校朝会で、子どもたちに次のような話をしました。

人間は失敗する生き物です。どんなに一生懸命練習しても失敗することがあります。例えば、サッカーやバスケットでシュートが入らないことがありますよね。野球で、ヒットを打てないことがありますよね。練習してきたのに、思うようにいかないのです。

でも、失敗したらどうしよう、と思って何もしなかったらそれで終わりです。もしかしたらシュートが入るかもしれないのに、何もしなければ絶対に入りません。良いじゃないですか。失敗しても。次にまたやり直せば良いのです。その代わりに、同じ失敗をしないように工夫をしたり、友達に助けてもらったりすれば良いのです。(中略)

失敗を恐れず、まちがいを恐れず何事にも挑戦しましょう。そしてみんなで伸びていきましょう。

4月の学校だよりでお知らせしたとおり、子どもたちには、失敗することを怖がらず「失敗から学ぶ」姿勢を身に付けてほしいと考えています。失敗してもいい、失敗することは自分を成長させる糧になるのだと。

先日、5年生の算数の授業を見ていたら、Aさんが、「答えは△△だ。」とBさんに話していました。最初はBさんも「そうだね」と答えていました。しかし、Bさんは「あれ？」と声を上げ、再度計算し直して、「違う。〇〇じゃない？」とAさんに言います。Aさんは「えっ？そう？」と聞いて計算し、もう一度計算し直すと、「あっ、〇〇だ。」と納得します。

私は、この姿をみて感心しました。これは、正に失敗から学ぶ姿です。しかも、友達から教えてもらう素晴らしい関わりです。この姿は、中央教育審議会答申「令和の日本型教育」にある、全ての子どもたちの可能性を引き出す「協働的な学び」の実現とつながります。

さらに、願うことは、同じ失敗はしないように、何をどうすれば良いのか考えること。そこが大切であり、友達から教えてもらうことも必要なのだということを考え、行動してほしいと考えています。

さて、今年29日(土)は運動会を実施します。内容は昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した競技とします。参観は保護者、ご家族の皆様のみ制限させていただきます。保護者、地域の皆様には、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。